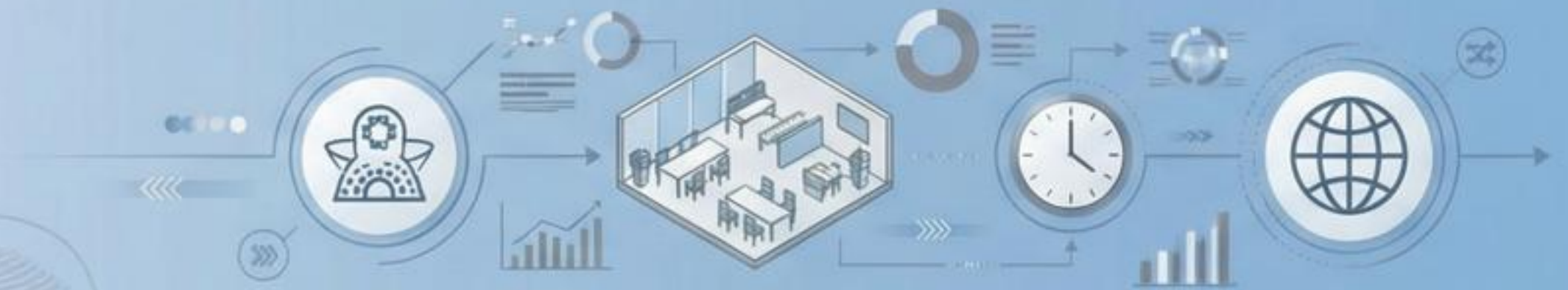


大阪万博期間限定コワーキングATC ExBox全記録

Expo 2025期間中に誕生した期間限定ワークスペースの全記録



作成：広報企画室

Expo 2025 大阪・関西万博のスケールと影響

大規模イベントが生み出した柔軟ワークスペース需要

主要データ



開催期間

2025年4月13日～10月13日（184日間）



来場者数

29,017,924人（見込み2,820万人を上回る）



参加国・地域

150以上



経済効果

約2,703億円（関西圏）



運営黒字

約230～280億円規模（推計）

市場背景



Expo万博



出展者



メディア



来訪者

リモート業務と現場活動を両立



会場周辺での「一時
なワークスペース」
需要が急増



イベント期間に限定
した柔軟施設の社
会的意義が拡大

作成：広報企画室

ATC ExBoxの概要と目的

万博に合わせて設計された期間限定の柔軟ワークスペース

基本情報

-  所在地：
ATC ITMビル4階D
ブロック
-  営業期間：
2025年4月13日～10月
13日
-  営業時間：
毎日 9:00～20:00

アクセスと利便性

-  南港ポートタウン線
「トレードセンター
前」駅直結
-  夢洲まで2駅、または
シャトルバスで約15分
-  館内屋内動線、荷物
預かりサービス連携

サービスの特徴

-  クレジット決済後10
分以内に利用開始
-  英語対応スタッフ・
主要カード決済
-  荷物預かりサービス
連携

利用対象

-  出展関係者
-  海外来訪者
-  取材メディア
-  プロジェクトチーム
-  ノマドワーカー

作成：広報企画室

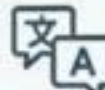
立地とアクセスの優位性

「夢洲から2駅」の測定可能な近さが決定的優位

アクセス構造

-  鉄道：大阪メトロ南港ポートタウン線「夢洲」駅まで2駅
-  屋内接続：駅からATCビルへ屋内通路で直結
-  シャトル運行：万博西ゲート行き直通バス（所要15分／片道350円）
-  空港アクセス：関西国際空港からバス・鉄道・タクシーで複数経路

環境的利点

-  天候に左右されない屋内移動動線
-  英語・日本語バイリンガル案内
-  周辺に飲食・宿泊・コンビニを集積し“小規模拠点エコシステム”を形成



作成：広報企画室

柔軟な料金体系とプラン設計

滞在日数・業務内容に応じた三層プライシングモデル

プラン種別	料金	主な利用者層・目的
時間プラン	¥1,100 / 1時間	日帰り業務者 / 見学合間の短時間利用
週プラン	¥6,600 / 週	展示スタッフ / 1～2週間単位の交代制業務
月プラン	¥22,000 / 月	PM・メディア / 長期滞在・調整業務対応

特徴

- ☑ 長期契約・敷金不要
- 📅 即時オンライン決済（主要国際カード対応） みコスト透明性を確保
- 📶 全プラン共通でドリンク・Wi-Fi・印刷・プレゼン機材を含み

作成：広報企画室

設備・サービス構成

“込み設計”で判断負担を削減し生産性を最大化

標準設備（全プラン共通）



高速Wi-Fi・無料ドリンク（コーヒー／紅茶）



USB印刷（A4/A3白黒）



個室ブース・会議スペース・
50インチプレゼンモニター

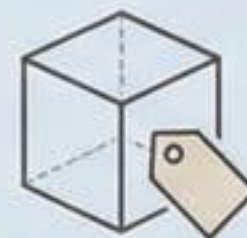


英語対応スタッフ・キャッシュレス運用



屋内アクセス・Bounce提携による荷物預かり

設計理念



細分化課金を排除し、
コストの透明性を確保



移動・印刷・通信など、
業務を中断させない環境設計



物理的・心理的ストレスを
最小化するユーザー体験重視



想定ユーザーと利用シーン

万博を支えた多層的な利用層と具体的行動パターン

主要ユーザー分類



出展者／ 運営チーム

- ・ブース調整・商談
- ・資料作成



海外ビジネス 来訪者

- ・ハイブリッドワーク
- ・タイムゾーン連携



メディア関係者

- ・取材・編集・送稿
- ・リモート配信



プロジェクト マネージャー

- ・長期的調整・技術
統括



デジタルノマド／ 短期滞在者

- ・観光と仕事の両立

利用行動



北米・欧州との時差を意識した
営業時間（9:00～20:00）



曜日・天候を問わない
安定的作業環境



一時利用から数か月契約ま
で柔軟に選択可能

成功要因の分析

「立地×柔軟性×透明性×付加価値」の四位一体構造



距離的優位

地下鉄2駅という明確な競争差。夢洲会場からの圧倒的な近接性。



利用の即時性

クレジット決済後10分以内に稼働。心理的摩擦を最小化した即時アクセス。



料金の透明性

オプション課金のない“全部込み”モデル。コスト予測が容易でストレスフリー。



付加価値統合

荷物預かり・移動調整・国際対応を一体化。業務を中断させない環境設計。

業界的意義

- ▶ “期間限定でも高品質”という新基準を確立し、一時的なワークスペースの可能性を拡大。
- ▶ 柔軟ワークスペースのサービス統合戦略を実証し、顧客体験重視のモデルを提示。
- ▶ 国際イベント時の短期不動産活用モデル化に成功し、遊休資産の有効活用を示す。

学びとベストプラクティス

大規模イベント向けワークスペース設計の知見整理

設計上の教訓



提供期間の完全同期

イベント開幕～閉幕まで正確に一致。



即時契約・多言語決済

来訪者の心理的摩擦を最小化。



長時間営業

国際時差と複雑スケジュールへの適応。

屋内アクセス

天候による不確実性を排除。



物流連携

荷物・移動・業務を一体的に管理。

再現可能なモデル



都市イベント時の “限定需要”

リスクなく吸収。



再現可能な
フレームワーク



不動産の 遊休空間

短期収益化する
フレームワーク
として有効。

ATCの継承と今後の展望

期間限定モデルから恒常的事業への知見転用

現状



ExBox閉幕：万博終了と
同時に運営終了



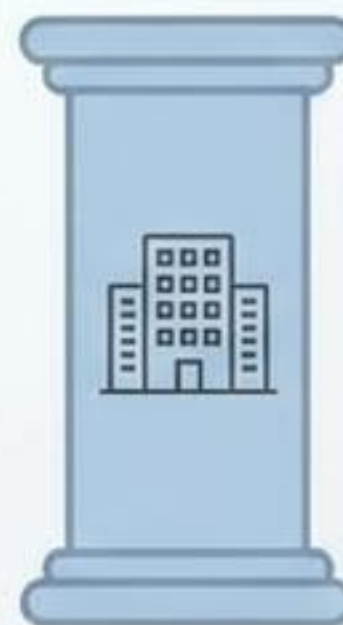
恒常事業：ITMビル内でオ
フィス賃貸事業を継続展開

差別化戦略

一時需要
(ExBox)



恒常需要
(オフィス賃貸)



二本柱での事業展開

波及効果



知見の転用：
国際対応・柔軟予約を
恒常事業へ反映



実験場としての機能：
短期モデルが長期ビジ
ネス改善の場に



記録的価値：
「期間限定＝低品質」
の常識を覆した事例